

職業訓練生募集

介護職員初任者研修・福祉用具専門相談員科(DS) (11月開講)

DS(デュアルシステム)：3か月の座学+1か月の企業実習

栃木県立県北産業技術専門学校では、再就職を支援するためにスキルアップ・習得の職業訓練を実施いたします。早期の再就職を目指し、技能の向上や新たな技能の習得を考えている方への支援プログラムです。

◆訓練日程

令和7年11月4日(火)～令和8年3月3日(火)
月～金 6時限：9:30～16:10
7時限：9:30～16:35
(休日：日/月/祝日及び校長が定める日)

◆訓練実施施設 (栃木県が訓練を委託して実施します。)

株式会社 TBC 福祉教育センター 那須塩原教室
〒329-2806
那須塩原市横林 137-4
(旧横林小学校内)
宇都宮事務局 Tel.028-651-2171



◆募集定員

15名
(注：応募が10名未満の場合は中止となることがあります。)

◆費用

受講料：無料 (ただし、一部自己負担となります。)
自己負担：
教材費 [約9,500円]、健康診断料 [5,500円]、
救急法基礎講習 [1,500円]
職業訓練生総合保険 [3,700円+払込手数料]
資格取得に必要な法定講習を欠席した場合の補講は有料(1科目につき3,000円)です。

◆対象者

公共職業安定所<ハローワーク>長の受講指示、
受講推薦、支援指示が受けられる方

◆申込方法

募集期間：令和7年9月1日(月)～10月7日(火)

必要書類：本校指定の入校願書および履歴書

提出先：公共職業安定所の訓練担当窓口へ
本コースは、求職中の方への特別な支援のため、複数回の就職相談が必要です。

◆選考

選考会場：栃木県立県北産業技術専門学校
(那須町大字高久甲 5226-24)

選考日時：令和7年10月16日(木)
受付：9:30～ 開始：9:45
応募者へ試験案内の送付はありません。
試験日時に遅れないようご注意ください。

選考方法：書類審査、適性試験(筆記)、面接試験

持ち物：筆記用具、雇用保険受給資格者証(ある方のみ)

発表日：令和7年10月23日(木)

栃木県立県北産業技術専門学校

〒325-0001 那須郡那須町大字高久甲 5226-24

TEL 0287-64-4000 FAX 0287-64-5445 <https://www.tochigi-it.ac.jp/kenhoku>

訓練カリキュラム

訓練科名	介護職員初任者研修・福祉用具専門相談員科（11月コース）	訓練対象者	初心者
訓練期間	令和7年11月4日～令和8年3月3日（4か月）	訓練修了後に想定される就職先	老人福祉施設・老人保健施設 訪問介護事業所・障害者施設 病院・通所介護・通所リハビリテーション
訓練目標	介護事業所、福祉用具関連企業において上司の指示を受けながら介護の基本作業及び福祉用具専門相談員としての業務ができる。		
訓練内容	科目	科目の内容	訓練時間
	オリエンテーション	入校オリエンテーション、就職支援	6h
	就職支援	就労準備講習（就業の意義・自己分析）基本的理念の理解、アイスブレイク、業界研究・ジョブカード・履歴書作成・面接指導・就職講話・企業説明会・ビジネスマナー・仕事の現状と仕事理解・合格する応募書類の作り方	13h
	職務の理解	多様なサービスの理解・介護職の仕事内容や働く現場の理解	9h
	介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護・自立に向けた介護	12h
	介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携・介護職の職業倫理・介護における安全の確保とリスクマネジメント・介護職の安全	9h
	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度・医療との連携とリハビリテーション・障害者総合支援制度の理念およびその他の制度	12h
	介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション・介護におけるチームのコミュニケーション	9h
	老化の理解	老化に伴うこととからだの変化と日常・高齢者と健康	9h
	認知症の理解	認知症を取り巻く状況・医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理・認知症に伴うこととからだの変化と日常生活	9h
	障害の理解	障害の基礎的理解・障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、関わり支援等の基礎的知識・家族の心理、関わり支援の理解	6h
	こととからだのしくみと生活支援技術	介護の基本的な考え方・生活と家事・快適な居住環境整備と介護・整容に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・移動・移乗に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・食事に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・入浴・清潔保持に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・排泄に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・睡眠に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・死にゆく人に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・介護過程の基礎的理解・総合生活支援技術演習	20h
	振り返り	振り返り・就業への備えと研修修了後に継続的な研修	5h
	修了評価	修了テスト	1h
	実習の理解	実技・実習オリエンテーション（服装・持ち物・注意事項等）	8h
	福祉用具専門相談員指定講習	福祉用具と福祉用具専門相談員の役割（福祉用具の役割、福祉用具専門相談員の職業倫理）介護保険制度等に関する基礎知識（介護保険制度等の考え方と仕組み、介護サービスにおける視点）高齢者と介護・医療に関する基礎知識（からだところの理解、リハビリテーション、高齢者の日常生活の理解、介護技術、住環境と住宅改修、福祉用具の特徴、福祉用具の活用）福祉用具に係るサービスの仕組みと利用者の支援に関する知識（福祉用具供給の仕組み、福祉用具貸与計画等の意義と活用、福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の作成）	60h
	修了評価（福祉用具専門相談員）	修了テスト	1h
	訓練導入講習	介護職の現状の理解、企業が求める人材像	12h
	こととからだのしくみと生活支援技術	介護に関するところのしくみの基礎的理解・生活と家事・快適な居住環境整備と介護・整容に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・移動・移乗に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・食事に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・入浴・清潔保持に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・排泄に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・睡眠に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・死にゆく人に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・介護過程の基礎的理解・総合生活支援技術演習	66h
	救急法基礎講習	傷病者の観察の仕方および一次救命処置（心肺蘇生、AEDを用いた除細動、軌道異物除去）等救急法の基礎	6h
福祉用具専門相談員指定講習	福祉用具の利用の支援に関する総合演習（福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の作成）	17h	
見学実習	介護現場の見学	12h	
介護実習	職場体験（施設サービス実習・訪問通所サービス実習）	18h	
訓練導入講習	模擬実習体験	12h	
職場実習	職場実習	100h	
パソコン技能演習	日本語入力方法、基本的な文書作成、基本的な表計算	14h	
訓練時間総合計 446時間（学科 201時間 実技 245時間）			
機器設備	DVD、人体模型、体温計、ストップウォッチ、血圧計、吸引器、浣腸器一式、介護機器、手洗い用具、毛布、運搬用具、ベッド、寝具一式、車椅子、杖、歩行器、ストレッチャー・環境整備用具、温室時計、モデル人形、弁尿器、ポータブルトイレ、浴室、ケリーバット、口腔模型、アイマスク、調理・食事用具一式、介護実習用品一式、被服実習用品一式 他		
目標資格	介護職員初任者研修 福祉用具専門相談員指定講習		